

<本年度クラブ会長方針>

No.1506

「**広げようロータリーの想い、職場に社会に**」

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
 会長 大原敏正 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号丸越ビル6F
 幹事 鬼頭茂成 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
 URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

ロータリーは機会の扉を開く

<2020-21年度 R.I.テーマ>

R.I.会長 ホルガー・クナーケ

第1769回例会

令和2年7月2日(木)
 会長幹事所見

於 名古屋東急ホテル
 会員 53名

出席計算数

49名中45名出席
 出席率 91・84%
 前々回出席率 100%

例会プログラム

- ★新旧会長・幹事バツジ継承
- ★米山奨学生挨拶・奨学金委授与
- ★誕生日のお祝い
- ★鬼頭幹事
- ★派遣青少年交換学生
- ★お迎え内容の変更について
- ★会長幹事所見

ロータリーソング

※新型コロナウイルス感染症
 拡大防止対策として歌は無し

ゲスト

米山奨学生 馬 健淋

ニコボックス

一年よろしくお祈いします。

大原 敏正

今年度始まりました。一年よろしくお祈いします。 鬼頭 茂成

大原年度スタートと共に私のガバナー補佐年度もスタートしました。皆様の協力をお願いします。

照井 栞

大原会長・鬼頭幹事、一年間よろしくお祈いいたします。 野田 真司
 お世話になります。 尾上 昇

大原会長・鬼頭幹事はじめ新理事・役員の皆様へ、よろしくお祈いします。

大原会長・鬼頭幹事、一年間御苦労様です。

君子道 其常一。 岩崎 征一
 久し振りの晴天です。早く梅雨が明けると良いですね。 荻葉 賢一
 本年度もよろしくお祈いします。

大原年度スタートをお祝いして。

柴岡 正将

新年度のはじまりです。大原会長・鬼頭幹事、照井ガバナー補佐、皆さん頑張ってください。 岡部 快圓

林 順治・杉本 忠夫

草野 勝彦・藤田 澈

岡田 尚彦・酒井 修

木村 光徳・堀江 英弥

前田 隆久・小澤 幸男

高木 政義・田崎 雅三

大原年度、一年よろしくお祈いします。

松本 哲朗・近藤宏一郎

大原会長・鬼頭幹事、一年間御楽しみにしてあります。

近藤 明美

佐々木 功・春日井和良

川島 勇基・大上 晃延

今年度もよろしくお祈い致します。 神谷さつき・丹下 富博
 大原年度のスタートです。よろしくお祈いします。 木村 吉伸
 新年度もよろしくお祈い致します。 川合 美幸
 松岡 毅・仲林 宏昌
 横川 誠人・加藤巴千彦

会長挨拶・会長所見

会長 大原 敏正



今年度会長を仰せつかりました大原でございます。新年度を迎えまして、会長所見を述べさせていただきます。11月に中国武漢で発生したと言われる武漢肺炎は、グローバルズの波に乗って瞬間に広がり、世界各国で多数の死者を出すと共に、社会機能や基盤を破壊し、これまでの「地域文化」や、価値観、更には個人や家族レベルの絆さえも破壊しました。記憶に大きく残る事となりましたのは、志村けんさんの死去ではないでしょうか。特に心を痛めたのが、感染が重症化し不幸にも亡くなられた方は、家族の「看取り」もないまま亡くなって逝かれたことです。心から冥福をお祈りいたします。

さらに、今現在でも治療方法が確立していない状況ですので、今後どのように対応していくべきか、又この厄災が収束した後どのような社会を我々が築いて行くべきか、以前と同じ社会に戻す事が出来るのか、全く見当がつきません。昭和20年、日本の敗戦直後の様だと述べられている方もあります。昨年度はこの大混戦の中で、私達のロータリー活動も自粛、停止に追いやられ、例会すらも開くことがままなりません。我が名古屋大須ロータリークラブでも前例のないこの半年におきまして、柴岡前会長、加藤前幹事のご苦労は大変なものであったと思えます。本当にお疲れ様でした。しかしながら、我がクラブからはごなたも感染者が出なかったと聞きますので、それだけは幸いであつたと思えます。

今年度の私の女房役を務めて頂く幹事さんは鬼頭茂成さんです。既に幹事、会長を経験されておられ、大変に心強い方が幹事さんとなりました。今年のような緊急事態、大混戦状況での会の運営には、最適の幹事さんで、大変に安心しています。多分皆さんも想いは同じだと思えます。

今年度の国際ロータリー会長は不動産事業を営むドイツのホルガー・クナーケさんです。彼のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。ロータリーは赤、黄、青の3色の扉で、その扉は全開ではなく半開き状態です。これは奉仕活動を通じて多くの人々に機会の扉を開く「お手伝い」をしましょうというものです。またこ



岡部年度地区方針
 「行動するロータリアン！
 世界で何かよいことをしよう、TOGETHER！」
 ロータークラブの奉仕が、
 世界の平和につながってゆきますー

私は、我々ロータリアンに向けて「我々自身もロータリアンの様々な奉仕活動を主体的に取り組む事で次のステップへレベルアップしたロータリアンになって、人生を積極的に変えましょう」と言う「いざない」でもあります。

今年度地区ガバナーの、岡部勢ガバナーは「行動するロータリアンー世界で何か良いことをしようーTogether」とテーマを掲げられました。「世界で」とはたいそう大事と感しますが、まずは自分の身の回りの世界、家庭、会社、交友関係、地域社会の中で実践しましょうと述べられている訳です。これは正に「ロータリアンの基本精神です。」の大混乱の世界を見据えて「ロータリアンの原点回帰を呼びかけていると理解できます。」

私の今年度のロータリアンに対する思いを述べたいと思います。
 今年2020年は我々日本人にとりましてとても大きなイベント、記念すべき「東京オリンピック」の年でもありました。昭和39年

1964年に第一回東京オリンピックが開催されて、56年ぶりの2度目のオリンピック開催の筈でした。武漢肺炎の影響により来年に延期されました。規模が縮小される、或いは再延期される、なごとも聞きますが誠に残念に思います。日本の次なる発展に影響が出るのは必至だと思っています。

また我々ロータリアンにとりましては、今年度は日本ロータリー発足100周年の記念の年でもあります。すでに皆様は良くご存知のことと思いますが、簡単に日本ロータリー発足の頃を振り返ってみたいと思います。

1918年に三井銀行常務取締役でありました米山梅吉氏は、日本政府の「財政調査団」の一員として渡米しました。その折、三井物産現地法人の福島喜三次氏宅に泊まり、会員であったタラスRCにゲスト参加、初めてロータリー活動に接し大変に感銘を受けられ、帰国後2年をかけて、1920年10月20日に会員24名で、ロータリークラブを創立されました。初代会長は米山梅吉氏、幹事は福島喜三次氏で、翌年4月に国際ロータリーに加盟承認をされました。現在の東京ロータリークラブです。

100周年記念事業は様々考えられているようですが、そのうちの1つは、国内全34地区に記念の点鐘が贈られたことで、ガバナー公式訪問ではその鐘が高らかに鳴

り響くそうです。記念すべき時に立ち会える喜びを感じます。しかしまた一方で、武漢肺炎によって様々な行事が中止となっています。当地区では、WFF（ワールドフード・ふれ愛フェスタ）を始め、青少年交換事業などです。また今年度のIM（インターシティミーティング）の開催を我がクラブが任されましたが、中止が決まりました。これに関しては実行委員長である鬼頭幹事から、幹事所見で説明して頂きます。地区研修協議会の延期もそうです。武漢肺炎の進展によつては、まだまだ変更が起きることも考えられます。しかし難を転じて考えれば、

この厄災が重なった日本ロータリー100年の節目は、ロータリーを改めて考える機会となった気がします。我々はどつてロータリアンになっているのか、ロータリーはどつあるべきかを考える良い機会だと捉えたいと思います。また考えるだけではいけません。行動もして行きましょう。平和な時だから出来るロータリー活動がありますが、平時ではない今だからこそ、積極的に奉仕活動を通じたロータリー活動を行い、現在の厄災が収束した後の、社会の回復に積極的に関わる必要が我々にはあると言えましょう。それは身近な人々を励まし、社員を励まし、顧客を励まし、社会を励ますロータリーシップを積極的に発揮する事で

す。ロータリーの原点を実践する時とも言えるでしょう。私はロータリーとは「プライド」だと思っています。そのプライドは自分の仕事に責任と誇りを持ち、会社の発展、社員の幸福実現、社会への貢献に、強いリーダーシップを発揮する事で得られるものだと考えます。

特に「社会への貢献」は、ロータリー「四つのテスト」で示されている規範に照らし合わせて行われるべきでしょう。もちろん「四つのテスト」のどれもが大切な規範ですが、中でも第4の「みんなのためになるかどうか」は、人としての行動基準の根幹であり、ロータリーのみならず人の道、倫理、道徳、近江商人の「三方よし」として、昔から日本人の心、言葉として語られて来ました。すでに日本人の遺伝子レベルでしっかり根付いている価値観でしたので、ロータリー活動は違和感なく日本人に受け入れやすかったと思います。又その為、世界の中でも特に日本ではロータリーが早くから広く知れ渡り、普及したように思います。しかし一方ではロータリーを知っている人は20%くらいというデータもあり、ロータリーの心を持っていない日本人が多くなるにも拘わらず、ぜひ仲間を広げていきましよう。

ロータリー活動は実践倫理運動です。自己の意識向上が周りへ良い影響を及ぼし良い職場、良い顧客につながる、事業の繁栄をもたらします。もちろん社会に広がれば安心した地域社会が作られていきます。

私達は現在の状況のなかで、様々な自粛を呼び掛けられていますが、決して萎縮することなくまた慢心する事なく、次のステップへの意識向上に向けて行動する大切な時に今直面しています。この1年が特に大切な1年だと思えます。例えを重視して学び、親睦を通じて心を磨き、自らが高まり行動を起こせば、このような志を持った集団は必ず発展すると思えます。又、これが社会に広がれば同じ意識を持った人が集まって来ます。これは会の活性化、発展につながるが退会防止や会員増強にもなっていくと思います。会に所属する事だけで満足するのではなく、一つでも積極的にロータリー活動に関わっていくことが自分自身の向上となり、会の活性化となるわけです。

我がクラブはこれまで様々な事業を行い、また継続してきました。これまでの活動による名古屋大須ロータリークラブは、Rー第2760地区の中でも高く評価されていることをよく耳にしています。今年度も引き続きこれまでの名古屋大須ロータリークラブの伝統と言われるような事業は、可能な限り継続していきたいと思えます。

我がクラブはこれまで様々な事業を行い、また継続してきました。これまでの活動による名古屋大須ロータリークラブは、Rー第2760地区の中でも高く評価されていることをよく耳にしています。今年度も引き続きこれまでの名古屋大須ロータリークラブの伝統と

いまの時点で「何をやっていきま
す」と言っても、今後見直さなけ
ればならなくなることもあると思
いますが、昨年から地区補助金事
業として準備を進めて参りました
日本、台湾、パラオの、柔道を通じ
ての青少年親善交流事業は、何と
しても実施したいと考えています。
またグローバル補助金を使った
台湾桃園西門ロータリークラブと
の台湾函周病予防事業と、来年6
月12日から16日に台北で開かれ
ます国際大会には皆さんで参加し
可能であれば海外例会になればと
思います。積極的に行動し、改め
てロータリーを考える年にしたい
と思います。

例会、様々な奉仕活動を通じて
お互いに良い影響を与え、この武
漢肺炎の厄災を跳ね返しましょう。
記念すべき日本ロータリー創立1
00周年の年です。10月には事務
局の移転もあります。「初心に戻る」
「原点回帰」、笑顔と共に、一步前
に進み、楽しみながら、飛躍が
来る一年にしていきたいと思いま
すので、よろしくお願い申し上げ
ます。

幹事所見 幹事 鬼頭 茂成

今年度幹事を務めさせていただ
きますが鬼頭茂成です。

今年度は当クラブにとって、大
変大きな事業が2点あります。



1点目は照井さんを西名古屋分
区カバナー補佐に輩出しました。
そして、2月にTMを開催するこ
という事業です。これは、既に報告
したとおり新型コロナウイルス感
染防止のために、名古屋東急ホテ
ルで行う予定だったTMは中止と
しました。照井カバナー補佐から
別の形で西名古屋分区の会員に向
けてのTMを企画してほしいとの
依頼を受けています。これからTM
実行委員会が知恵を出し合って
計画を立て実行します。概要が決
まり次第皆様に報告致します。

2点目は、事務局の移転です。
現在の丸越ビルに事務局が入居し
たのは20年前のことです。例会場
移転に伴ってのことで、プリンセ
スカーテンホテルから名古屋東急
ホテルへの変更でした。入居の際
の契約書の保証人は、当時の会長
小笠原和俊さんと、幹事の岩崎征
一さんでした。今回は丸越ビルが
解体されることでの移転です。こ
の新型コロナウイルスの騒ぎが
始まった3月に、丸越ビルの新しい
オーナーから、解体するため退去
の依頼がありました。
そこでこの
4ヶ月、近
藤宏一朗さ
んの力を借
りてこの近
辺で様々な



物件を調査しました。ようやくほ
ぼ満足出来る物件が見つかり、今
月の理事会で承認をいただくこ
ろまで来ました。今月中には皆様
にご報告出来ると思います。
従来、クラブで行ってきた奉仕
活動は継続して行います、この大
原会長の方針ですので、名古屋大
須ロータリーの結束力を大いに発
揮して、皆で協力して全ての活動
を遂行して有意義な1年にしたい
と思います。皆様の協力によろ
しくお願い致します。

米山奨学生挨拶・奨学金授与

名古屋大須ロータリー会員のみ
なさん、こんにちは。7月になっ
て、私の前期第1クォーターの授
業がまもなく終わります。4月か
らコロナの影響でオンライン授業
になってしまいましたが、オンラ
イン授業だと授業動画をみるタイ
ミングも自分で決められるように
なり、そして何回でも見られるの
で、対面式の授業より内容も理解
しやすいし、自由度も高いので、
貴重で良好な経験ができました。
第1クォーターで私は10単位を
取得し、第2クォーターでも10単
位を取得し、集中講義などをきめ
て前期で21単位をとる予定です。
大学院卒業には30単位が必要なの
で、後期で9単位を取り、終了の
単位を大学院1年で全部取るつも

りです。
なぜかと
いうと、
2年にな
ると就職
活動や学
会発表に
かかる時
間が多く、
授業を受ける時間が無いくらいです。
そして卒業論文などの研究に没頭
しながら車の免許を取りたいです。
生活上のスキルをできるだけ多く
身につけたいです。
以上、7月の報告を終わります。
ありがとうございました。

新旧会長・幹事バツジ継承

歴代会長及び歴代幹事へ受け継
がれているバツジが、柴岡正将直
前会長から大原敏正会長、加藤巴
千彦前幹事から鬼頭茂成幹事へ手
渡されました。

●ホストファミリー
今のホストファミリーになって
から、本当に毎日楽しく過ごして
います。六月の頭には、ホストシ
スターにどんを作ってあげました。
日本から送って貰った乾麺とス
ープを使い、簡単なうどんを作りま
した。かなり気に入ってくれたよ
うでよかったです。
サイクリング、カヌー、お菓子作
り、犬と庭で遊ぶ、バスケット、プ
ール、家の近く
の川で遊ぶ、ホ
ストファミリー
とフアミリー
トランプで遊ぶ
等、フィンラン
ドの夏休みの過
し方を一杯楽し
んでいます。
毎日同じ事の繰
り返しのように
感じていた休校
の頃とは違い、
フィンランドの
コロナ状況も良
くなりつつある

その他・お知らせ

派遣青少年交換学生報告
「マンスリーレポート6月」
青少年交換学生 大上 夏生
こんにちは。皆様いかがお過
しでしょうか。日本でも、普通の
生活に戻りつつあると聞きました。
一刻でも早く安心した生活に戻
る事を願っています。



ため、家から出て過ごす事も多くなりなりました。フィンランドにも夏が来て、毎日とても暑いですが、ほぼ毎日サウナに入っています。

ホストマザーは、私とシスターに「この夏に絶対したい事シート」を作るように言いました。私は欲張りなので、沢山の事をそこに書きましたが、6月の下旬には私のシートには沢山のチェックマークが付きました。7月になったら、コロナの事も考えて思い出のミニ旅行をしよと私のために計画をつくってくれています。

下旬に去年同じ地区に来ていたアルト君が、私の街にも遊びに来ました。街を案内したり、日本食を食べたり、サウナ、プール、白夜の森を散歩などの楽しい事を一緒にして、最高の思い出が出来ました。時間も沢山あったので、ゆっくりとお話したり、映画を見たりもしました。



この二日間、更に仲良くなる事が出来て嬉しかったです。

●友達

六月初めに、友達と一緒にピザを買って川の近くでピクニックをしました。休校になって

からなかなか会えていなかった友達にこの機会えてとても嬉しかったです。

そして、ついにムーミンランドに行く事が出来ました！フィンランドに来てからずっと行きたかったのですが、なかなか実現できず学校の友達に誘ってもらって六月中旬に行きました。

沢山のムーミンキャラクターと一緒に写真を撮り、ムーミンランドを全て見回りました。本やアニメで見たムーミンの世界と全く同じで、嬉しくてこの写真にも笑顔で写っていました。

後日写真を見返して「本当に楽しかったんだなあ」とその時の事を思い出します。この日はとても暑くて、長い時間炎天下の中歩き回るのはとても大変でしたが、それも関係ない位、楽しんで、はしゃぎまわって、本当にいい思い出になりました。

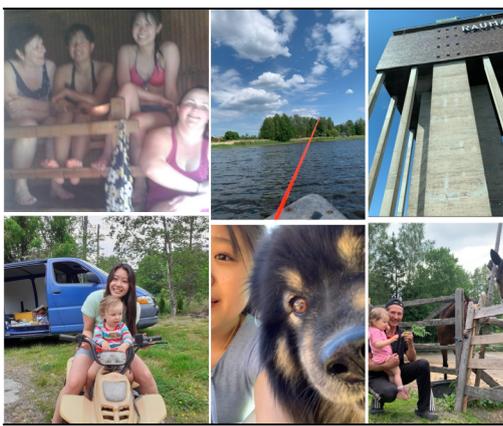


●ラウマ

6月14日〜18日の間、ホストシスターのお祖母さんとお祖父さんの住んでいるラウマという場所を訪れました。お祖父さんが管理をしているサマーコテージに私とホストシスターは宿泊しました。サマーコテージの目の前にある川で魚釣りをしたり、泳いだり、カヌーなど、沢山の事をしました。もちろん、サウナにも毎日入りました。私が想像していたフィンランドの夏を感じて、幸せな時間でした。

ホストシスターの沢山の親戚の人達にこの時に会い、新しい知り合いが出来た事も私にとってはいい経験になりました。

留学する前に自己紹介を急しなくてはいけなくなった場合、自分の事をあまり理解できていなかったのも難しく、厄介に感じました。



初対面や、関わりがない方と一緒にBBQをしたり、一緒にサウナに入ったりと、留学する前の自分だと気が引けてしまっていた事も、今では楽しんでしていた自分に気が驚いています。

六月になって更にフィンランドの生活が好きになりました。沢山の事を経験し、感じる事が出来ました。そして、マンスリーレポートを書くのは今月で最後になりました。先輩方に、あつという間に時間は過ぎる、と聞いていましたが、本当にあつという間でした。日本に帰国する直前まで悔いの残らないようフィンランドでの生活、ホストファミリーとの時間を大切に過ごしたいと思います。

7月はフィンランドから日本への飛行機がセントレアまで飛ばないです。

いと連絡を買ったため、日にちは変更無く、15日17時45分ヘルシンキ発、16日9時10分成田着の便へ変更致しました。最後まで読んでくださり有難うございました。



7月16日(木)例会の案内

- 委員長所見
- 国際奉仕委員会
- 委員長 渡辺 観水さん
- 青年奉仕委員会
- 委員長 高木 政義さん
- 親睦活動委員会
- 委員長 大上 晃延さん

- 公共イメーション向上委員会
- 小澤 幸男・横川 誠人
- 住田 正夫・山口 正孝
- *本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。